

半導体後工程自動化・標準化技術研究組合 (SATAS) へ加入 ～半導体後工程におけるパッケージングプロセスの自動化に貢献～

ヤマハロボティクス株式会社は、半導体製造の組立・検査工程(以下、後工程)の省力化、自動化、それらに必要な標準化を実現し社会実装することを目的とする「半導体後工程自動化・標準化技術研究組合 (Semiconductor Assembly Test Automation and Standardization Research Association)」(以下、SATAS)に、組合員として加入しました。当社はヤマハ発動機グループとして SATAS 設立当初から活動に貢献しておりましたが、このたび、ヤマハロボティクスとして組合員になることで、半導体後工程技術の発展や業界標準化へのさらなる貢献を目指します。

SATAS は、半導体メーカーをはじめ、半導体製造装置メーカーや自動搬送装置メーカーなど、半導体業界企業と団体が中心となり、半導体生産の後工程における自動化技術や業界標準仕様の作成を進めています。さらに、装置開発と統合されたパイロットラインを用いた検証を実施し、2028年以降の後工程の自動化システムの実用化を目指しています。

近年急速に成長を遂げる生成 AI において、半導体パッケージング技術は欠かせません。当社はこの分野のパイオニアとして、これまでに培った知識と経験を活かし、SATAS における研究開発に貢献し、先進的な自動化ソリューションの提供を通じた、生産性向上と安定供給体制の構築を支援します。

本件問い合わせ先

ヤマハロボティクス株式会社 営業戦略部 03-5937-6413(代表)